

ジェイアールバス東北本部

第3号

2022年9月1日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申1号 JR東労組バス東北本部 第35回定期委員会の発言に関する申し入れを行う！

JR東労組バス東北本部は7月14日、JR東労組仙台地方本部に於いて第35回定期委員会を開催し、新生JR東労組運動宣言のもと、職場からのたたかいを基礎に、安心・安全な職場をつくり出し、組合員・社員とその家族の生活と笑顔を守る運動方針を満場一致で確認し、圧倒的成功のもと終了しました。

今定期委員会では、各職場において断続的に退職者が出ていることから、慢性的な要員不足についての発言が多くありました。また仙台分会からは、現業機関の統廃合に伴う業務量の増加により身体的な負担が増え、このままでは健康や安全が脅かされるといった危機迫る発言も出されました。

今回の定期委員会の発言を受けて、バス東北本部は、止まらない退職者に終止符を打つべく、安全と健康を第一に考える姿勢を妥協せずに、労使議論を継続するべきであると考えます。「安全・健康・ゆとり」を基軸に安心して働きやすい、働きがいのある職場をつくり出すために、組合員の声を基に下記のとおり申し入れを行いました。

- 1 人材流出を止めるための効果的な対策を早急に講じること。
- 2 仙台支店のバス車両整備部門での業務量が膨大であり、さらに車両故障が多発していることから業務量の負担を軽減する対策を講じた上で車両故障件数の減少に向けた対策を講じること。
- 3 現業機関の統廃合や要員不足で乗務員の負担が大きくなっていることから、健康・安全を確保するため、これまで以上に各現場の意見を最大限取り入れたダイヤを作成すること。
- 4 2年を経過した転勤者を早急に元の勤務地へ戻すこと。また、やむを得ず戻すことが出来ない場合については、当該社員に早めに説明を行うこと。
- 5 同業他社に比べ、休日数が少ないことから年間休日数を104日以上とすること。
- 6 定期昇給が無く生活が厳しいことから契約社員の待遇を改善すること。
- 7 給与において、保険料や年金等の控除面での差し引き間違いが多いことからチェック体制を強化すること。
- 8 人材流出防止のために職場で汗を流し、奮闘している社員が希望を持てるような将来像を示すこと。

**諸問題解決に向け職場運動を強化し
安全・健康・働きがいのある職場をつくり出そう！**